2020(R2)年 11 月 No300(前回7月以来の発行)



発行:(公財)千里リサイクルプラザ 市民研究所 〒565-0826 大阪府吹田市千里万博公園4-3 TEL 06-6877-5300 FAX 06-6876-0530 http://www.senri-recycleplaza.or.jp/











[日次] P2 公益制理法人になって P0 施設見字対応表研略 P3 対 年投資公員登載収全付式 P7 市民研究員報報課業



ご協力いただいた すべての皆様に感謝 申し上げます。









すいたのごみ80年史展&しんぶんしアニマルアート展同時開催中



第1回市民研究員研修講座

10月3日(土)くるくるプラザ講義室2で、 今年度第1回目の市民研究員研修講座を行いました。講師には大阪学院大学教授で本市民研究所の 主担研究員でもあります三輪信哉先生をお招き し、「地球規模の問題をどう吹田市で取り組む か」というテーマでご講演いただきました。

先生は、アジェンダ21すいたの代表も務められ、吹田市の環境政策にも関わっておられます。 その観点から、今回の講演では吹田市から考える 環境問題をお話しいただきました。環境問題をグローバルな視点からと、吹田市という街から見た 視点を並列して説明がありました。

グローバルな視点から見ると、温室効果ガス削減目標は国によって目標の作り方やその基準となる値について、それぞれの国の事情の中で決められていることがよくわかりました。

また、吹田市による温室効果ガス削減については、2020年まで目標について達成は困難であり、その後の2050年度までに75%削減も大変厳しいということでした。吹田市は環境問題については、先進的な自治体であるという認識が、市民にも市外の人たちにもあるように思いますが、実態を見てみるとなかなか厳しい状況がお話しからわかりました。

強力な罰則規定や助成・補助が無い中で実効性ある方策は何か、を考えさせられるお話しでしたが、やはり徹底した市民、事業者への意識啓発や学校でのCO2削減教育の習慣化などプラザでできることをするしかないと思いました。



吹田のごみ80年史

(公財) 千里リサイクルプラザ 事務局長 山口 耕右

ごみの歴史は、まちと暮らしの歴史

吹田のごみ80年史展を開催中

今年2020年は、吹田市制80周年、大阪万博開催50周年という記念すべき輝かしい年となるはずでしたが、コロナ禍によりイベントやいろいろな取組が制約を受けることとなりました。

くるくるプラザも4月、5月の2か月間閉館になり、6月にやっと開館となりました。毎年見学に来る小学生もほとんど来館できない状況になり、「すいたのごみ80年史展」もまだ、あまり観られていないのは残念ですが、まだ、展示期間が残っていますので機会があればご覧になっていただきたいと思います。

10年単位で分かり易く

吹田市が誕生した昭和 15 年 (1940 年) から令和 2 年 (2020 年) までの 80 年間を 10 年単位でごみ処理にまつわる主な写真をその時代背景とともに展示し、子どもにも分かり易くしています。

今年は新型コロナの関係で外国からの来館者は 全くありませんが、昨年までは中国などアジアからたくさんの来館者があったため、英語での解説 も職員が作っています。

また、写真を使用するには様々な制約があり、 イラストに頼らざるをえないところもありました が、白岩裕美子氏のご協力をえて、少ない予算で 制作できました。感謝いたします。

「吹田ごみ物語」 一吹田とごみと人々と一の成果をもとに

今回の展示の資料として 1995 年に前プラザ市 民研究所長の土屋正春氏が中心となって市民研究 員が編纂・発行した「吹田ごみ物語」が大変重要 な役割を果たしました。

昔の写真や資料の新たな入手は困難でしたが、 一定の資料がすでにあったこと、吹田のごみに関 わるその時代の人々の営みがこの小冊子にいきい きとまとめられていて、ごみ問題という視点から 吹田というまちがどのようにして発展してきたか を知ることができました。

高度経済成長と吹田

大阪市に隣接し、国土軸に位置する吹田市は、高度経済成長期(昭和30年代~40年代)に人口が倍以上に急増します。地方から都市への人口の急激な流入は、都市問題としてのごみ問題を生み出しました。

吹田市では、当時ごみの焼却もしていましたが、 そのまま、処分地に埋め立てもしていました。最初 は問題にならなかったのですが、どんどんごみが 増え、住宅地に迫ってくる中で、悪臭やハエやカな ど衛生問題だけでなく、ごみから発生するメタン ガスで火災が発生するという事態が生まれ、住民 と行政の間でトラブルが生じています。

大阪万博とごみ問題

昭和 45 年(1970 年)、6400 万人以上の入場者で 大成功した大阪万博ですが、地元である吹田市は、 万博開催にあたってごみをどうするか苦慮します。

千里ニュータウン内に建設予定だった高野台焼 却工場が住民の反対で中止となる中で、当時の山 本市長は、東奔西走し、万博会場の東側にあった府 有地(現資源循環エネルギーセンター)を借地し、 万博終了後に万博敷地内にある市有地と交換する という形で焼却工場の建設に漕ぎつけました。工 場の竣工は万博開催の直前だったとのことです。

先人の努力に学んで

ごみ問題は多くの人の努力によって様々な壁を 乗り越えて今日に至っています。

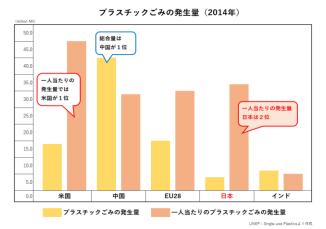
今、地球温暖化や海洋プラスチック問題という大きな課題が私たちに課せられていますが、先人に学び、私たちも未来に向かって前進していきたいものです。

日本のプラスチックごみの現状

市民とお店をエコでつなぐプロジェクトチーム 市民研究員 菊田 善雄

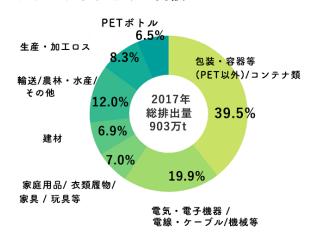
今年度、私たちPTの新しいテーマとして、「プラスチックごみの削減」問題を取り上げているが、 "お店"から出るプラスチックごみ(食品トレー、ペットボトル、レジ袋等)を中心に3年計画で取り組んでいこうと考えている。

まず最初に、日本のプラスチックごみの現状を 調べてみると(下図参照)



使い捨てプラごみ排出国の No. 1 は中国だが、1 人当たりの発生量はアメリカに次いで 2 位が日本 になっている。

プラスチックごみの内訳



日本全体のプラスチックごみの総排出量は年間 903 万トン(家庭 418 万トン、企業 485 万トン)。

そのうち、レジ袋や食品トレー、お菓子の包装などの「包装・容器・コンテナ類」は全体の約4割を占めている。

ペットボトルは 6.5% (59 万トン) でレジ袋は 約 2% (20 万トン) と推定される。

日本のプラスチックごみ 903 万トンのうち、86% (775 万トン) がリサイクルされ、残り 14% は焼却・埋め立て処理されている。

86%というと、かなり優秀な数字にみえるが、この「リサイクル」の7割近くが「サーマルリサイクル」で、ごみを燃やして発生した熱を回収し、発電や温室プールの熱源などに利用する方法である。純石油製品であるプラスチックは、石油や石炭と同等の発熱量を有するため、焼却することで大量のエネルギーを回収できるのである。

しかし、この「サーマルリサイクル」(和製英語)は、欧米では「サーマルリカバリー」と呼ばれ、 そもそもリサイクルの範疇には含まれない。

国際基準でリサイクルと認められているのは、 廃プラスチックを新たなプラスチック製品などに 再利用する「マテリアルリサイクル」と、鉄の原 材料やガス、石油などに再利用する「ケミカルリ サイクル」のみ。日本は「リサイクル」を、かな り広い意味で独自に定義し、「高リサイクル率」を 掲げているので、再考の必要がありそうだ。

私たちの暮らしから出るプラスチックごみに目を向けると、ペットボトルは分別・回収率が9割と高く、大半がマテリアルリサイクルの手法で新しいペットボトルやシート、繊維、成形品などに生まれ変わる。

一方、レジ袋やスーパーなどの弁当容器、コーヒーのプラカップなど、「包装・容器」に使われる大量のプラスチックごみはというと、「サーマルリサイクル」、つまり燃やされる対象。ペットボトルよりもはるかに多いこれらのプラスチックごみだが、「脱プラスチック」の動きの影で、盲点となっているのではないか。しっかりと目を向け、減らす方法を考えていかねばならない。

【ソーシャルイノベーションジャパンHP、 ㈱メディアジーンHP参照】

今年度は新型コロナウイルスの為 6 月からのスタートになったが、7月の定例会では、三輪先生

から「プラスチックごみが問題だ」と題して講義 をしていただき大変勉強になった。

そして最初に取り組んだのは、2020年(令和2年)7月1日よりレジ袋有料化がスタートしたので、スーパー、コンビニ他の実態調査をすることになり57店舗を調査した。

調査店舗は、スーパー14店舗、コンビニ3店舗、 デパート2店舗、ドラッグストア(薬局含)7店舗、ホームセンター2店舗、家電量販店1店舗、 100円ショップ4店舗、その他14店舗。

(チェーン店を1店舗として47店舗)

主な店舗のレジ袋価格

【コンビニ】

○ セブンイレブン 大、中、小、

弁当3円、特大5円

○ ファミリーマート

大、中、小、弁当3円

○ ローソン

L、M、弁当3円

【スーパーマーケット】

○ イオン食品売場

L5円、M3円、

弁当2円

" 衣料、雑貨大

5円、中3円、

小2円、紙袋10円

○ イズミヤ食品売場 大10円、中5円、

小3円、特大30円

○ 阪急オアシス

L5円、M3円

○ マックスバリュー

L5円、M3円

○ 関西スーパー

L3円、M2円

○ ライフ

大8円、中5円、

小2円

○ マルヤス

L3円、M2円

○ 業務スーパー

大6円、中5円、

小3円、花6円、

一升瓶6円

【デパート】

○ 阪急阪神百貨店 一

一律5円

(バイオマス 90%)

クラフト紙袋30、50円

○ 近鉄本店

大5円、中3円、小2円、酒用10円

(バイオマス 50%)

デパート2件では、バイオマス25%以上のレジ袋を使用し無料提供で良いのだが、環境意識を高めてもらうために有料にしている。

【ドラッグストア】

- スギ薬局 大5円、中3円、小2円
- キリン堂 大9円、中5円、小3円【ホームセンター】
- コーナン L5円、M3円、花用3円
- LOFT 大 7 円、中 5 円、 小 3 円、特大 15 円

【100円ショップ】

- ダイソー 大7円、中4円、小2円
- Can Do 大7円、中4円、小2円
- FLETS 大7円、中4円、小2円

【家電量販店・その他】

- ジョーシン 一律5円
- 未来屋書店 L10円、M4円
- ニトリ 一律 5 円

○ ユニクロ

紙袋大、中、小無料

(9/1より一律10円)

レジ袋の料金は 2~5 円程度が相場となっており、袋のサイズごとに設定している店と一律に設定している店に分かれている。又、外食産業では(今回は調査対象外)バイオマス使用で無料の店舗が多いが、一律 3 円の店もある。

レジ袋有料化実施から1か月後のコンビニ大手3チェーンのレジ袋辞退率は75%以上になり、年間で約9,000トンの削減になるようだ。

プラスチックごみ削減問題で、今、最も気になるのが「コロナ禍におけるプラスチック製品の需要拡大」である。世界中を襲った新型コロナウイルスは、莫大なプラスチックごみを生み出している

マスクのほとんどはプラスチック製であり、フェイスシールドや透明なついたて、間仕切り、そして、さまざまな医療用機材も多くはプラスチック製である。特に医療用機材は、病原菌が付着している可能性があるのでほぼ使い捨てである。再利用もリサイクルもできない。また、レジ袋もティクアウトやデリバリー等で増えている。

この半年間で、日本だけではなく世界中ではどのくらいのプラスチック製品が生産されたのか想像もつかないが、こうした感染症対策のためのプラスチック製品をどうするのかということは、レジ袋よりもはるかに大きな課題である。

国は、プラスチックごみの問題にどう向き合う のかを明確にするとともに、本気で削減に取り組 まなければならない。

ニュース 300 号の歩み

市民研究員 大垣

本号をもって 300 号になりました。お世話になったすべての皆様に感謝の言葉を申し上げます。

ニュースは研究所発足以来発行してきましたが、当初は今と異なり、成果の発表は「報告書」で、広報は「しみ

んけんきゅう」で行い(発行は年 1 回業者印刷)、ニュースは研究員向きの連絡帳のような位置づけで、そのため、今月の活動予定を表紙に掲載するスタイルで、この形を約10年続けてきました。

(↑2002年10月No108中 に10年記念行事の記事有) 大きく変わったのは2003



年7月の関西大学で宿泊して研究所の今後を検討する 大会議(No117)からで、熱心な議論の中で、研究員が作 業に追われ大変な理由として人手不足があり、そのため には広報活動の充実も必要だろうとの結論になり、ニュ ースを連絡帳から外部への広報紙に変え、表紙にはト ピック内容を掲載し発行部数も倍の 650 部に増やし公 民館に配布するようになりました。

またこの頃から研究所の在り方も変わりました。初代末 石所長の時は「ごみ問題を分析するゾ」という熱意の元、 文字通りの研究志向でした。当時のごみ要因分析図な どを見るとその熱意を感じます。しかし、その後再構築 騒動などもあり、学問的研究ではなく、もっと目に見える 形で、ごみとの関わりをすべきだとの意見が多くなり、そ の形として、イベントでのごみ減量活動、リユース食器事 業、などが開始されました。

メンバーはリユース食器全国大会に参加・岩手県開催のサミットにも参加、元気大賞を受賞しました。(No131→)

エコ体験活動は前から活動実態があったのですが、職員に歩く旅の好きな人がおられ、市内の小学校に渉外活動を積極的実施し、学校への学習支援活動を増や



しました。これらの改革は2代目福井所長時代に行われ 現在に至っています。 No213(2011)は東日本大震災の年です。ニュースでも 節電を呼びかけました。表紙にエアコンの使い方を図示 しています。他に節電アンケートを実施したり、HP上で は電力温暖化関連を掲載し啓発に努めました。どの程 度寄与できたか不明ですが、結果として大停電も発生 することなく乗り切れたわけですから、それになり寄与で きたと信じたいです。

次に印刷手段の進歩を取り上げます。最初はワープロ時代で、PC 普及してからもプリントアウトした原稿を別の厚紙に鋏と糊で切り貼りして原稿を完成させ、それを読み取り、孔版輪転機で印刷していました。

No162(2007年)に導入した機器からデジタル印刷が可能になり、PC 原稿を直接印刷機に転送できるようになりました。単に便利というのではなく、写真がそれまでよりきれいに出るようになり、写真印刷すると文字がかすれ、文字印刷すると写真がつぶれるという、矛盾から開放されたのが大きいです。なお2色刷は内部に輪転ドラムが2台ある構造になっています。

No250(2014 年)にはカラー印刷機が 導入されました。これはインクジット印 刷なのですが、家庭用 PC プリンタと は比較にならない程の超大型インク

カートリッジを使用、ヘッドも何列にも並び高速かつ、顔料ですが印刷コストもはるかに安く、昔を知っている者としては感慨深いものがあります。

昔は「編集も印刷も全部研究員がしなさい」「所長は最終チェックだけ行います」との方針でした。なかなか原稿メールが来ないので、当日に電話で催促したり、元原稿では写真が小さいので、印刷がきれいにでない、しかし写真を大きくすると今度はページからはみ出すので、文章を圧縮するか行間を圧縮するかし、何度も試し印刷し、印刷締め切り時間に追われながら、仲間と検討を重ね、「まぁこんなもんでいいやろ」などといいつつ作業していました。情報紙が何度も検討を重ねながら原稿を丁寧に作っていくのに対し、ニュースは毎月であり、仲間が集まる時間も限られるので、毎回綱渡りが実態でした。今となっては楽しい思い出です。なお No281(2017 年)から隔月になりました。

HP に関しては第三世代まで、職員と研究員が行ってきましたが、No267(2016)から業者製作になり現在に至っています。今後ともニュースをよろしくお願いします。

市民研究所通信

9月12日

今年度のくるくる環境スクール開校!



今年度で3回目をむかえる「くるくる環境スクール」ですが、新型コロナウィルス感染拡大の影響をうけて、本来4月11日開校の9回の予定が、9月開校の6回と時期をずらし、回数を減らしての開校となりました。

このスクールは、環境問題について、受講生に 座学よりも体験を通じて考えてもらうことを大き なコンセプトにしています。それだけに規模の縮 小により、好評だったエコクッキングとPTの体 験ができなくなってしまったのは、たいへん心残 りです。

この状況で今年度は8名の方が申し込んでくださいました。開校式ではそれぞれご自身の環境問題への関わりをしっかりお話ししてくださり、また施設見学も強い印象を持たれたようです。



第2回の木工体験、第3回の三輪先生の講座 は、どちらも8名全員出席で、とても熱心に受講 していただきました。木工体験では、最初は慣れ ない手つきの人もいましたが、だんだんと慣れて きて最後には蓋つきごみ箱を全員が完成させまし た。また、三輪先生の講演では、複数の方から質 問も出るなど、積極的な受講生が多いと感じまし た。

これから、残りの自然体験、PT紹介、閉校式と続くわけですが、この講座だけでなく「くるくるつながり広場」も紹介し、市民研究所の活動をより知っていただければと考えています。

10月25日、11月28日

プラザで遊ぼう!をします

このコロナ過で今年度の環境出前講座は年度末まで中止ということになりました。環境学習支援では、受け入れる学校も、出向いていく市民研究員からも、感染防止に対する不安があり、現状では厳しい状況が続いています。

そこで、今年度は小学生にプラザに来てもらって体験してもらう「くるくるプラザで遊ぼう」を 企画しました。これは、2つの出前講座プログラムを午前中2時間で体験してもらうもので、終了 後に紙すき工房などにも立ちよっていただけると いいなあと思っています。

定員は、それぞれの日に10人で、市報での告知や近隣の小学校の4年生へのチラシ配布をして広報しています。10月25日には、5名の子どもたちと保護者が参加してくれる予定で、11月28日もたくさん来てもらえるとうれしいです。



市民研究所カレンダー

研究所 11 月の予定

研究所 12 月の予定

日	曜	催し	時間・場所	備考		日	曜	催し	時間・場所	備考
1	日	定例会	13:00〜 プラザ講義室	手作りおもちゃ と環境PT		1	火			
2	月	休館日				2	水	第9回代	代表者会議 10	: 00~
3	火	休館日 ミニソーラーカ	一工作&	文化の日		3	木		るフォーラム	13:00~
4	水	「そらくる」乗 10:00~/13				4	金	(_{クール⑥)} 場所:フ	プラザ講義室2
5	木		プラザ講義室2	7 77		5	±			
6	金					6	日	E		
7	±	つながり広場	9:00~ 糸田川(豊津駅)	市民研究員		7	月	休館日		
8	田					8	火			
9	月	休館日				9	水			
10	火					10	木			
11	水					11	金			
12	木					12	土			
13	金	定例会		市民とお店をエ コでつなぐPT		13	日	くるくるワークショップ	10:00~ くるくるプラザ	•
14	土	定例会/つながり広場	10:00/13:00 くるくるプラザ	S D Gs啓発プロ グラム作成PT		14	月	休館日		
15	日	くるくるワークショップ	10:00~ くるくるプラザ		•	15	火			
16	月	休館日				16	水			
17	火					17	木			
18	水		20			18	金	第4回研究運営委員会	くるくるプラザ	主担・執行役員 ・事務局
19	木	# 7 (b)				19	±			
20	金					20	日			
21	土	A COLOR				21	月	休館日		
22	B					22	火			
23	月	休館日		勤労感謝の日		23	水			
24	火	休館日		振替		24	木			
25	水					25	金			
26	木					26	土			
27	金					27	日		The second second	
28	±	環境出前講座 (プラザで遊ぼう!)	10:00~ くるくるプラザ	手作りおもちゃ と環境PT	•	28	月	休館日		
29	日					29	火	休館日		
30	月	休館日				30	水	休館日		
						31	木	休館日		

は、資源リサイクルセンター(くるくるプラザ)の休館日です。●は、一般の方も参加できます。詳しくはプラザまで。